

令和５年度第２回 益田市障がい者自立支援協議会 全体会次第

日時：令和５年 11 月 13 日（月） 14:00～15:30

会場：益田市役所 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- ・相談支援会議上半期振り返りについて （資料）

4 議題

- ・「安心いきいきプラン」について （資料１）

5 その他

- ・障がい理解促進部会講演会について
- ・人権フェスティバルについて
- ・スペシャルオリンピックスについて

6 閉会

令和 5 年度 益田市障がい者自立支援協議会 相談支援会議 上半期の振り返り：テーマ「教育・地域との連携」個別ケース検討などを実施

日程	年代	障害種別	事例内容・意見交換	担当	地域課題など
5/19	30 代	精神	本人の困り感がない場合のアプローチ	ラポール	・ 家族への介入に対して拒否あり ・ 地域との関わりが持てていない ・ インフォーマルや趣味の場の情報収集 ・ 場の提供（フリースペース）など ・ サービス終結後の関わり方
6/15			益田市教育委員会と放課後等デイサービス事業所との意見交換	基幹	・ 小学校入学へ向けての準備 ・ 就学相談が全保育所へ行けていない ・ 総合審査評の記載方法 ・ 小規模校は特別支援学級がなく対応で、学校・親子ともいたい ・ 特別支援学級への理解も増えてはいる
7/20	20 代	精神	家業に揺れ動く、本人と家族の思い	そら	・ 主治医より、家業のことを本人へ話さないよう話あり（父が我慢） ・ 本人、父、母、それぞれの思いへの支援 ・ 本人の本音の聞きだし方 ・ サービス終了後の次のすすめ方 ・ 主治医や周囲などとの連携
8/18	小学生	知的	知的障害のない児童への支援	ほっと	・ 友達との関係がうまくいっていない ・ 本人の意思表示について（親や先生に言わない） ・ 遊んでいるときのことも本人が状況を伝えられない ・ 進学に対する親の理解、学校との連携 ・ 本人の日頃の様子を把握し、課題を見出していく。
9/21	20 代	発達・精神	出所される障がい者が障害福祉サービスを利用される際、相談支援の役割をどう考えるか？	ぷらっと	・ 重複障害への対応、本人の障害受容 ・ アセスメント（生育歴など情報不足、本人からの話も事実不明） ・ 再犯のリスク、司法との連携 ・ 多職種との連携の強化 ・ キーパーソンや支援体制について

上半期振り返りのまとめ

※個別ケース検討等を行ったが、テーマが大きいことや継続性への課題があった。

1. 個別ケース検討

- ・本人の意向の聞きだし方が多く、深めていけなかった。連携に関する課題など目的まで到達できていない。
- ・検討を行った後の支援状況の共有していく。
- ・相談支援専門員のスキルアップを目的としている。

2. 意見交換

- ・放課後等デイサービス事業所との意見交換はお互いを知ることでもでき、課題も出る。他の事業所とも意見交換があるといい。

3. 新規ケース

- ・新規・継続ケースの様式（下記）を活用し、課題を共有する意識を持っていく。
- ・新規ケースの報告のみではなく、課題を抱えているケースを継続ケースとしてあげることで、地域課題にもつながるきっかけとなる。

No (年度)	性別・年齢	相談経路	相談日	相談内容	対応・経過	課題	対応・提案 (必要時・継続ケース の場合、記入)
	障がい						
	支援区分						
新規・継続						1、個人・地域・なし(いずれかに○) 2、保健・医療・福祉・教育・就 労・家族・経済・社会・その他 (いずれかに○(複数可))	

4. その他

- ・サービス担当者会議の記録様式に「残された課題」という項目がある。まずは会議録へ記入し、相談支援会議で個別の「残された課題」を共有していく。